

「用務員さん、ちよつと」

○登場人物

榎野 まきの 高校用務員

田原 たばら 高校用務員

所長 高校設備所長

女子生徒A 学生

女子生徒B 学生

女子生徒C 学生

男子生徒A 学生

男子生徒B 学生

男子生徒C 学生

とある高校の用務員室。

所長　それでは朝礼を始めます。本日ですが、新一年生の校内写生が予定されております。校内通路で生徒たちがいると思いますので作業は、邪魔にならないようにお願いします。それでは今日の作業内容をお願いします。

田原　外周巡回、グラウンド裏の雑草狩り。事務室前ののツツジの剪定（せんてい）、校内西側の清掃、校内南側花壇の雑草取り。体育館清掃の予定です。グラウンド裏の雑草狩り、草刈機使います。

所長　校内西側は、音楽室が近くにありますので、ブロワーの騒音に気をつけてください。もし使うのであれば、授業の合間の休憩時間をお願いします。

田原　わかりました。

所長　他に何かありますでしょうか？

田原　特にありません。

所長　それでは今日も一日、よろしくお願いします。

所長、出て行く。

榎野 校内写生って、絵を描くんですか？

田原 新一年生だからな。記念に校舎の絵を描くんだよ。

榎野 なるほど。

田原 何やる？

榎野 写生となると、校内通路に学生がいっぱいいると思いますんで、体育館の清掃やります。いいですか？

田原 いいよ。おれは外周巡回行って、その後、草刈りやるわ。

榎野 了解です。

田原、去る。

榎野 掃除機、取りに行くか。

榎野、去る。

女子生徒A、女子生徒B、女子生徒Cが下手側の地面に体育座りして、画用紙の帳面を持って、写生を始める。

榎野が上手側から、掃除機を持って、入ってくる。

ふと、目が合う、女子生徒たちと榎野。

女子生徒A、スカートをさっと閉じる。

榎野、何も気づかず、そのまま下手側を通り過ぎる。

女子生徒A 見られた！

女子生徒B えっ？

女子生徒A あの用務員さん、私たちのスカートの中、見た。

女子生徒C えー！！

女子生徒A 先生に言わなくちゃ！

女子生徒B 本当に見てたの？

女子生徒A うん。

女子生徒C それは問題だ。

女子生徒たち、走って去る。

榎野、下手から出てきて、掃除機をかけてい

る。

所長が上手から入ってくる。

所長 ああ、榎野さん、ここにいましたか？

榎野 おお、所長、なんですか？

所長、周りの様子をうかがってから、

所長 榎野さん、見ました？

榎野 は？

所長 いや、だから、見たのかなあ、って。

榎野 何を？

所長 女子生徒。

榎野 そりゃあ、見るでしょう。今日、校内写生で生徒いっぱい出てますよ。っていうかなんですか？

所長 実はですね、1年の担当主任の先生からクレームが来まして……。

榎野 クレーム？ 何の？

所長 いや、それが申し上げづらいんですが、榎野さんが女

子生徒のスカートを……。

榎野 スカート？

所長 落ち着いて聞いてください。女子生徒のスカートの
中、のぞきました？

榎野 はあ！？

所長 女子生徒が、用務員さんにスカートをのぞかれた、と
担当主任の先生に言ったようです。

榎野 なんでおれが、そんなことしなくちやいけないんです
か。おれ、仕事中ですよ。

所長 でも、クレーム来ちゃいまして。

榎野 いや、それ、シヤレになってないでしょ。

所長 いや、私もどうしたものか、と思ひまして。

榎野 見てないって、はっきり言ってくださいよ。いや、こ
の学校、校則ないじゃないですか。短いスカート履いてる

子、いっぱいいるでしょ。

所長 見てないんですね？

榎野 見てません！

所長 わかりました。対応しておきます。

榎野 見てませんからね！

所長、去る。

榎野 ふざけんじゃねえ！

榎野、イライラして掃除機をかけ始める。

田原、チリ取りとホウキを持ってやってくる。

田原 榎野さん、所長から聞いたよ。見たんだって？

榎野 田原さん、勘弁してくださいよ。なんでおれがガキンチョのスカートの中、見なくちやいけないんですか？

田原 覗（のぞ）いたと思われたかあ！

榎野 冗談じゃないですよ。おれ、覗き魔になっちゃうじゃないですか！

田原 今は、学生はみんなスマホ持つてるからねえ、一気に拡散するなあ、これは……。

榎野 くっそー！ これはほんとにシヤレになってない！

田原 帽子をかぶってる用務員さん、って言ったら、榎野さんだもんな。

槇野 田原さんは疑われないでしょ。ただ、これ、問題大き
くならないですかね？

田原 さあ……。

槇野 さあつて……。

田原 写生、やってるときはねえ、階段の上に座ったり、地
べたに座ったりして足上げてるから、危ないんだよえ、お
れ、下向いて歩いてるもん。

槇野 それ、先に言ってくださいよ。おれ、普段通りにして
ましたよ。

田原 で、やっぱり覗いた？

槇野 田原さん！

田原 冗談だよ。こんなこといい大人ならみんなわかるだ
ろ。覗かねえよ、わざわざ。

槇野 当り前です！

田原 まあ、腹は立つかもしれないけど、冷静にな。

槇野 ……。

田原、去る。

榎野　　なんでおれが覗き魔にされなきゃいけないーんだよ。あ
んのガキどもが！

男子生徒Aが通りかかる。

男子生徒A　スカートの中、見ちゃだめじゃないっすかあ！

榎野　　ちよつと待て。それ、君、僕のことを言ったか。

男子生徒A　もうラインで相当、知れ渡っちゃってますよ。

榎野　　君、テニス部だろ。おれがそんなことをするように見
えるか？

男子生徒A　いや、ないっすね。部活で相当、お世話になって
ますし。部室前整理してくれたの用務員さんですよ。

榎野　　あちこち物が散乱してたから。

男子生徒A　まあ、おれ、高2になったばかりなんで、新入
生に知り合いいないんですよ。

榎野　　ライン……あつという間に知れ渡るな。

男子生徒A　こわい時代っすよ。もう全校生徒に知れ渡ってる
んじゃないですか。

榎野　　覗きの用務員さんがいるってことになるのか？

男子生徒A 新入生、用務員さんのこと知らないっすからね

え。

槇野 仲間に、用務員さんは、見てないって言っといてくれ。おれは覗き魔じゃねえ。

手をそえて、クスツと笑って去る、男子高生

A。

槇野 くっそー！面白くねえし、シヤレになってねえ！

女子生徒A、女子生徒B、女子生徒C、通り
かかる。

女子生徒A 見た。絶対見た。

女子生徒B 変態……。

女子生徒C 先生に言っとききましたあ。

女子生徒たち、去る。

女子生徒たちがいなくなっってから、

榎野

ふざけんじゃねえ！

榎野、掃除機を持って去る。

女子校生A、女子生徒B、女子生徒Cが入ってきて、次々と、様々なゴミを持ってきて、舞台下手側に捨て、ゴミ山になる。男子生徒B、男子高生C、が入ってくる。男子生徒Bが野球ボールを投げると、男子生徒Cが角材でボールを打つ。しばらくすると角材を放り投げて、去る。男子生徒Aが入ってきて舞台中央でジュースを飲み干し、適当に放り投げる。舞台上にゴミ山、角材、ペットボトルが散乱している。

用務員室。

所長が入ってくる。

榎野、田原が入ってくる。

榎野

所長、話ってなんですか？

所長 先日、生徒さんの親御さんから、学校にクレームが入りまして、用務員さんと生徒さんが廊下ですれ違い様に当たりそうになったということです。

榎野 仕事ですから、そういうこともあるでしょうね。

所長 榎野さん、生徒がそれで怪我したら、どうするんですか？ うちの会社の責任になります。

榎野 そんなのただの難癖じゃないですか。どこ見て歩いてんだ、って言うってくるチンピラと変わりませんよ。

所長 生徒さんに何かあったらだめなんです。

榎野 ……。

所長 そういうことですから、用務員さん、お二人とも今後、生徒とすれ違うときは、歩くのをやめて立ち止まってください。

榎野 止まる……。

所長 細かいことですけど、お願いしますね。

所長、去る。

榎野 田原さん、なんなんですか、このクレーム。

田原 用務員さんの押ししてる台車と当たりそうになったつて、クレームも前にある。

槇野 そういうこともあるでしょう。生徒が親に言って、親が学校にクレーム出してるんですか？

田原 生徒、親、先生が事務室にクレームを出したら、会社にそのクレームが下りてくる。そういえば、用務員さんが臭いってクレームもあったなあ。

槇野 こっちは、体動かして仕事してるんですよ。汗もかきますし汗臭くなることもあるでしょう。

田原 ここは生徒とその親が正義なんだよ。おれたちは、わかりました、すいませんでした、っていうだけだ。まあ、お客様みたいなもんだ。

槇野 納得いかねえなあ。当たりそうになったなんてクレーム、まともじゃないでしょ。親の教育がなってないんだわ。

田原 おれたちが、子供の頃は、よく用務員さんに叱られたものだけだな。もうそういう時代じゃないんだわ。

槇野 田原さん、この前、グラウンドで用具類の準備してたら、ちやうど昼休み中でサッカーやってる生徒がいたんですよ。

田原 うん。

楨野 それで蹴ったボールが僕に当たったんですよ。思わず、いてっ、って反射的に言ったんですけど、生徒それ聞いて、なんて言ったと思います？

田原 なんだろ？

楨野 上から目線で、「なんだと！」です。普通、「すみません」でしょう。蹴ったボールが関係ない人に当たったわけですから。

田原 そういう生徒もいるんだね。

楨野 マジで一回、シバかないとわからないかなって思いましてね。

田原 (笑う)

楨野 生徒、シバいたら、どうなりますかね？

田原 クビだねえ。

楨野 ですよねえ。

吹奏楽部の楽曲が聞こえてくる。

野球部の掛け声が聞こえてくる。

掛け声 いーちにいーさあーんしいー!

掛け声 いーちにいーさあーんしいーにいーにいーさあーんし

いー!

掛け声 いーち!

掛け声 おーれ!

掛け声 にいー!

掛け声 おーれ!

榎野 おっ、部活が始まったなあ。

田原 おれ、野球部の掛け声うるせえんだよなあ。あれこそ

騒音だと思うね。

榎野 おれは休み時間のワーキヤー言ってる声のほうが騒音で
すね。最初は元気でいいな、と思ってたんですけど、だんだ
んうるせーな、と思っってきて。特に最近は、女子生徒の声
が嫌いですね。

田原 あー、スカートの件かあ。あれ、職員会議にかかって
るらしい。

榎野 えっ?

田原 一年生の写生をやめるかどうか、って話らしいよ。

榎野 やっぱり大事(おおごと)になってるじゃないです

か、くそっ！

田原 親に言う生徒もいるだろうしね、めんどくさいかもね。

榎野 おれ、こんな案件で問い詰められたら、裁判でも何で
もしますよ。覗いた、なんてことにされたら、おれ、クビじ
やないですか。

田原 ……。

榎野 帰りましょうか。

田原 うん。

榎野、田原、去る。

多目的教室。

榎野、田原が、長机を持って、置いていく。

榎野 くそっ、この長机、重てえなあ。

田原 軽いやつ、家庭科室の追加で5脚、全部使っちゃって
るからさあ、この長机しかない。

榎野 全部で6脚でしたっけ。

田原 そう6脚。

槇野 あとパイプ椅子18でしたよね。

田原 確か、そう。

槇野 依頼書、見ます。

槇野、ポケットから依頼書を出してみる。

槇野 パイプ椅子18ですね。バス定期更新なんで、長机前

4脚、後ろ3脚で、各机に、パイプ椅子3つつつ配置
です。

田原 了解。

槇野 このバカ重い机は、ほんとにいやだ。

槇野、田原、黙々と運び出しと配置の作業をす
る。

田原 こんな感じか。

槇野 そうですね、これで終わりですね。

田原 あれ、今日やっちゃおうでしょ？

榎野 ああ、更衣室にするから、教室から椅子90客、別教室に入れるってやつですよ。

田原 そう。

榎野 これ終わったら行きますか。

田原 うん。

榎野 午後、賞味期間切れの非常用保存水ペットボトル廃棄ですね。

田原 あれ、一本一本水抜かなきゃいけないし、200箱ある。何週間かかるかなあ。

榎野 もういいですよ、あんなの。急がなくて。

田原 うん。

榎野、田原、去る。

男子生徒B、男子生徒C、女子生徒A、女子高生B、女子生徒C入ってきてパイプ椅子に座る。

女子生徒A ねえ、あの用務員、普通に仕事してない？

女子生徒C あの件、知らされてないんじゃないの？

女子生徒B ああ、ありうる。

男子生徒B あれ、スカート見られたってやつ。

女子生徒A 正確に言えばスカートの中。

男子生徒C それ、ラインで見たけどさ、もうがっちり覗か

れたわけ？

女子生徒たち ……。

男子生徒B がっちり覗かれたわけじゃないんだ。

女子生徒A でも見られたよ。

男子生徒C どこからみられたわけ？

女子生徒B 前から。

男子生徒C 全員？

女子校生B スカート上げてたから。

男子生徒B それ覗いたんじゃないって、見えちゃっただけじ

ゃねえの？

女子校生A えっ？ 何？ あの用務員かばうわけ？

男子生徒B いや、かばうわけじゃないけど、そんな大きな

問題か？

女子生徒たち ……。

男子生徒C じっくり見られたわけじゃないでしょ？

女子生徒たち ……。

男子生徒B もうやめようぜ、その話題。もういいよ。

女子生徒たち ……。

男子生徒C さっ、ここ片付けようか？

女子生徒A ええー、私たちが片づけるの？

男子生徒B 演劇部が、バス定期更新終わったら、すぐ使っ

だってさ。先生に片付けろって言われた。

女子生徒C めんどくさっ！

男子生徒C ほらっ、やるぞ。

生徒たち、机と椅子を片付ける。

榎野が入ってくる。

散らばっているゴミの山を燃えるゴミともえないゴミに分けて、大きなビニール袋に入れていく。それが終わると、ペットボトルを拾い、角材を拾い、去る。

男子生徒Aがやってくる。

榎野が入って来る。

槇野 おいつ、君！

男子生徒A えっ、おれですか？

槇野 そう、君。

男子生徒A 何か用ですか？

槇野 いますぐ、学生を全員、この体育館に集まるように言

え。用務員さんから言っておきたいことがある。

男子生徒A そんなの無理ですよ。

槇野 集められるやつだけでも集めろ。用務員さんが、特別

な話を聞かせてやるからって説得するんだ。あれ、使え、あれ。

男子生徒A ラインですか。

槇野 そうだ、いますぐ集まるように言え。

槇野、パイプ椅子を舞台中央に一脚持ってきて座る。

男子生徒、スマホを出して何やら打ちこむ。

男子生徒B、男子生徒C、女子生徒A、女子生徒

B、女子生徒Cがやってくる。

槇野 集まったか。

槇野、席を立ち、

槇野 6人か。まあ、いい。これから用務員さんが、人生を賭けて、お前らに言うべきことがある。

男子生徒A お前ら……。

槇野 いいか、よく聞け。まずゴミの分別からだ。燃えるゴミ、燃えないゴミ、毎朝回収してるのだ誰だと思う。この俺だ。やってるけどなあ、燃えるゴミも燃えないゴミも分別できてない！ もうぐつちやぐちやだ。お前ら、どういう教育を家庭で受けてんだ！ 燃えるゴミと燃えないゴミをおれが再分別して捨ててるんだぞ。お前ら、そういうことわかってんのか！

生徒たち ……。

槇野 あとな、使ったものは片付けろ！ 角材で野球やったやつがいる。角材で野球やるのも問題だけどな、その打ったボールと使った角材ぐらい自分で片づけろ！ なんで用務員さんがお前らの散らかした角材とボールを拾い集めなくちゃ

いけないんだ、自分でやれ。学校の先生も近くで見てたそうだが先生もお前らの保護者からのクレームがこわくて、注意もできない。その注意をこの用務員さんがいま、やってんだ！

女子生徒A　いきがってる。

槇野　　なんでいきがるかわかるか！　おまえらがめちやくちやだからだ！　お前ら、感謝ってことわかってるか。学年が変わる直前に1000か所のロッカーと下駄箱を掃除してる。入学式、卒業式、大看板かかっているよな、それを作ってるのは用務員さんだ。日章旗（にっしょうき）も校旗もポールに上がってる。誰があげてると思う。用務員さんだ。催しがある度に体育館のステージ上に、机と椅子が整然と並べられてる。誰がやってるかわかってるか、用務員さんだ。それで終わりだと思うなよ。準備したら、片付けがある。出したら、片付けなきゃいけない。それをやってるのも用務員さんだ。どれだけ学校生活で用務員さんに助けられてるか、お前ら、わかってないだろ。社会に出て、なんとなくされていることは、みんな周りの誰かが代わりにやっていることだ。

生徒たち　……。

槇野 この学校は部活が弱い。なんでだかわかるか！

生徒たち ……。

槇野 清掃と片付けを生徒が出来ないからだ。お前らの部

室、思い出してみろ。清掃もしてないし、使ったものもぐちやぐちやに置いてあるだろ。おまけに部室のゴミ、部室で食べた弁がらのケース、部室前通路にほっぽり投げて、山のようになってるだろ。いいか、なんでおれが部活が弱いと言えるか。片付けができないから、風紀が乱れて、統制がとれてないんだ。そんなチームが試合で勝てるわけがない！ 頑張るだけ無駄だ。片付けが出来ないなら、部活なんてやめちまえ！ 無駄だ、無駄！

女子生徒C ひどい……。

槇野 おれは根拠がなく言ってるわけじゃない。自分もいまでこそ、用務員だが、元は大企業の役職だった。そこで起きたことを言う。経費節減の一環で、清掃業者を切った。オフィスはあつという間に埃（ほこり）まみれだ。どこもかしこも汚い。そこで起こったのは、社員の規律の乱れだ。それはひどいもんだった。きれいなオフィスならそこまで墮落しなかっただろうな、と思ったもんだ。その経験があるからこ

そ、お前らのために思い、部室前を特に綺麗にしてたんだ。
どうせやるなら強くなれ！

生徒たち ……。

槇野 以上だ、疲れた。解散しろ。

生徒たち、解散する。

槇野、椅子に座り込み、首を傾（かし）げ、一
眠りしたかと思うとすぐ起きる。

槇野 おお、良かった。いまの夢か。現実ならクビだ……。

田原がやってくる。

田原 おお、どうした？

槇野 熱弁をふるってました。

田原 熱弁？

槇野 いえ、疲れたらしく、ここで一眠りしてしまったよう
です。

田原 期限切れのペットボトルの廃棄、大量にある。こりや

だいぶかかるわ。

榎野　そうですか。すみませんでした。

野球部の掛け声が聞こえてくる。

掛け声　いーちにいーさあーんしいー！

掛け声　いーちにいーさあーんしいーにいーにいーさあーんし

いー！

掛け声　いーち！

掛け声　おーれ！

掛け声　にいー！

掛け声　おーれ！

田原　騒音が始まったわ。帰ろう。

榎野　はい。

田原、去る。

榎野、椅子を持って去る。

所長がやってくる。

反対側から榎野がやってくる。

所長 榎野さん、ちよつといいですか。

榎野 ええ。なんででしょうか。

所長 あのスカートの件なのですが、先生で話し合いになり、写生のやり方に問題があるのではないかということになりスカートを履いての写生は、今後、中止になりました。榎野さんには、何か責任があるとかそういう話にはなりませんでした。

榎野 おお、良かった。そうじゃないと困る。覗いたなんて言われたら裁判にするところだったわ。

所長 ……。

榎野 本気だったぞ。

所長 まあ、そういうことです。引き続き、よろしくお願ひします。でも、またこういうことあるかもしれませんので十分、気をつけてください。

榎野 あれ以来なあ、学生が見えたときは下を向いて歩くことにしてる。

所長 学生とは当たらないように。

榎野 うん、注意する。

所長、去る。

男子生徒Aがやってくる。

男子生徒A　用務員さん、テニス部の後輩に調べさせました
んで。

槇野　何を？

男子生徒A　あの件です。

槇野　どうだった？

男子生徒A　まあ、事故っすね。

槇野　そうだ、すれ違っただけだ。

男子生徒A　スカートの中、見えました？

槇野　いや、足をあげてるのはわかったが、スカートの中ま

では、はっきり見てない。

男子生徒A　まあ、学生でもそういう話になってるようなん
で。用務員さん、パンツ覗かないでしょ、って話で。

槇野　覗かねえよ、興味ない。

男子生徒A、うなづいて去る。

男子生徒B、Cが通りかかる。

男子生徒B・C おはようございます。

槇野 おはようございます。

女子生徒A、B、Cが通りかかる。

女子高生A おはようございます。

槇野 おはようございます。

田原がやってくる。

田原 聞いたよ、あの件、不問になったんだって。

槇野 そうじゃなきゃ困るんですよ。

田原 良かったじゃん。

槇野 ええ、本当に良かったですよ。でも挨拶する子はちゃんとするんですよ。ちょっと地頭（じあたま）は悪いやつはいるけど、いい子もたくさんいる。

田原 そういうこと生徒に聞かれたら、やばいから。

槇野 そうですね、また何のクレームになるかわかりません

ね。

田原 ペットボトル、あと180箱、片付けるかあ。

槇野 あと180箱ですか。

田原 20箱、昨日、片付けた。

槇野 早いつすね。

田原 体育際に向けて、大掛かりな準備も待ってるから、それまでに片付けないと。

槇野 そんじゃあ、今日も行きますかあ。

田原 おう。

槇野、田原、去る。

〈幕〉